

田原市 あなたと議会を結ぶメッセージ

# 議会だより

No.92

令和6年1月15日号

今月の渥美半島の花  
「リシアンサス」



## 令和5年第4回定例会（11/30～12/14）

- 定例会で決まったこと・・・ 2 ページ
- 議案一覧・主な質疑・・・ 4
- 一般質問・・・ 6

## その他

- 議員間交流他・・・ 13
- 議員とたはらトーク・・・ 14
- 議会の活動・・・ 15



歌える喜びをかみしめながら♪

渥美混声合唱団の皆さん（インタビュー16ページ）

# 未来を育む子育て支援を 含む全25議案を可決

令和5年 第4回

定例会 (11月30日~12月14日)

## このようなことが決まりました

市長提出議案 25件

令和5年第4回定例会を11月30日から12月14日まで開催しました。  
市長提出議案25件のうち、人権擁護委員候補者の推薦2件は異議なしと決定し、  
一般会計補正予算を含む23件は、いずれも原案のとおり可決しました。

▷関連4~5ページ



子ども・子育て施策の推進に必要な財源を安定的に確保し、次代の社会を担う子どもたちが健やかに生まれ、育つことができることを目的として、子ども基金を設置します。

子ども基金を設置します

議案第92号基金条例の一部改正

謹んで新春を

お祝い申し上げます。

田原市議会議長 中神 靖典



皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

田原市は昨年、市制施行20年を迎えました。また本年は、新たな10年間を見据えた第2次田原市総合計画により、将来都市像を「うるおいと活力あふれるガーデンシティ〜みんなが幸せを実現できるまち〜」と掲げ、地域や社会全体に幸せや豊かさが広がるまちを目指していくこととなります。

混沌とする世界情勢、長びく物価高騰など、不安な要素により、田原市も問題は山積しておりますが、昨年新しい体制になりました田原市議会議員一同、より多くの皆様のお声を頂戴し、田原市の課題解決に向けた活動に邁進してまいります。

結びとなりますが、皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

議案第96号水道事業給水条例の一部改正

## 水道料金を改定します

水道事業の安定的な事業経営を継続するために、使用水量料金及び私設消火栓使用料金を20%、固定料金を15%改定し、全体では18%増額改定（値上げ）します。



議案第105号第2次田原市総合計画の基本構想

## 第2次田原市総合計画の基本構想を可決しました

令和15年度までを計画期間とした第2次田原市総合計画のうち、将来都市像として「うるおいと活力あふれるガーデンシティ〜みんなが幸せを実現できるまち〜」を掲げた基本構想を可決しました。



令和5年第4回定例会議案一覧

105	101	100	99	98	97	96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	議案 市長提出議案	
第2次田原市総合計画の基本構想	工事請負契約の変更	清田小学校屋内運動場長寿命化改修	財産の無償貸付けの変更	損害賠償の額の決定及び和解	東三河広域連合規約の変更	農業集落排水処理施設の管理に関する条例及び下水道条例の一部改正	水道事業給水条例の一部改正	空家等対策協議会設置条例及び空家等の適正管理に関する条例の一部改正	遺児手当支給条例の一部改正	児童発達支援センターの設置及び管理に関する条例の一部改正	基金条例の一部改正	国民健康保険税条例の一部改正	職員の給与に関する条例の一部改正	教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正	特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	人権擁護委員候補者の推薦 (山本 克仁 氏)	人権擁護委員候補者の推薦 (小笠原 扶久美 氏)	市長提出議案

令和5年度補正予算

102	103	104
一般会計(第7号)	国民健康保険特別会計(第1号)	水道事業会計(第1号)

追加議案

議案 番号	106	107
市長提出議案	使用料及び手数料条例の一部改正	一般会計(第8号)
令和5年度補正予算		

※議案番号欄が白の議案は、賛否が分かれた議案です。

## 主な質疑

議案に対する  
委員会・本会議での  
議員の質疑・意見です

議案 No.91

産前産後期間の国民健康保険税を減額

**問** 出産には早産なども含まれるのか。

**答** 国民健康保険税の産前産後期間の減額における出産は、妊娠85日以上分娩を言い、早産の他、死産、流産、人工妊娠中絶も含まれる。

議案 No.92

こども基金の設置

**問** こども基金の設置に至る背景は。

**答** 国ではこども家庭庁が創設され、本市も令和6年度スタートの第2次総合計画で、子育て環境の充実などを重点に取り組んでいくとしていることから、今後、新たな子育て施策を展開するに当たり、必要な財源を安定的に確保する。

議案 No.96

水道料金の改定

**問** なぜ水道料金改定が必要なのか。

**答** 現行料金のままでは国の補助金を受けられず、令和6年度以降は赤字決算が見込まれる。今後も安心して水道を利用していただくため改定が必要。

議案 No.97

下水道使用料等の改定

**問** 公平性と事業の安定経営のためというが、詳細は。

**答** 公平性とは、令和6年度に定額制を従量制に使用料体系を統一し、不公平感を解消すること。安定経営のためとは、現行の使用料体系を継続した場合、人口減少等に伴

議案 No.95

空き家等対策の推進

**問** 管理不全空家等に認定した後、引き続き適正な管理が行われなかった場合の措置等の流れは。

**答** 所有者等に対して指導を行い、次に勧告することとなる。その場合、当該敷地は、固定資産税等の住宅用地特例の対象から除外される。

議案 No.100

清田小学校屋内運動場の長寿命化改修工事請負契約の変更

**問** 今回の改修工事の変更内容は。

**答** 東側壁面の修復の他、全体の外壁や内壁のクラック等の補修箇所を追加、外構工事の増加など。

議案 No.99

空家等対策の推進

**問** 認定や措置を講ずることで、今後どのような効果を期待するか。

**答** 所有者等の責任意識が醸成され、早い段階での空き家の適正管理につながることや、空き家等の売買や除去の促進等につながる。

議案 No.100

貸付け相手等の変更

問 野田南部養豚組合は、なぜ解散することになったのか。

答 かつて国県の補助事業は、農事組合法人を立ち上げることが要件だったが、近年は必ずしも必要でなくなってきた背景もあり、野田南部養豚組合は組合の有り方について協議を行い、解散する結論に至ったと伺っている。

(12/7 総務産業委員会)

議案 No.102

令和5年度一般会計補正予算(第7号)ふるさと応援寄附金の増額

問 増額となった理由は。

答 返礼品の数の増加や新規ポータルサイトの開設、また、返礼品の魅力度を向上させたことで上半期の寄付額が伸びたことから、下半期の増額を見込んだ。

渥美支所正面玄関のひさしの改修

問 来庁者への影響は。

答 工期は5カ月程度。正面玄関から出入りができるように、落下物等の危険がないように安全に配慮して工事を進めていきたい。

いづも基金への積立

問 積立金額20億円の根拠は。

答 新たな子ども施策等へ1年で2億円程度充当していくと見込み、第2次田原市総合計画の計画期間に合わせ、10年分の20億円とした。

田原めつくんはうす電気設備改修

問 今回補正で計上した理由は。

答 本年10月に停電が起こり、その際応急処置はしたが、機器の老朽化等といった停電が起きてもおかしくない状況が判明したため。

伊良湖海水浴場の海岸整備

問 今回補正で計上した理由は。

答 漂着物の除去等が必要な状況であり、海水浴シーズンの始まる前までに整備し、観光客等を受け入れたいと考えているため。

福江市街地活性化に係る補助金

問 補助を予定する民間事業者は、どのような事業を計画しているのか。

答 空き店舗となっているショッピングセンターレイを改修し、地域住民や観光客などが集う複合施設の整備を計画している。

(12/8 予算決算委員会)

議案 No.105

基本構想の策定

問 改定版第1次総合計画では、まちづくりの理念と将来都市像を掲げていたが、第2次総合計画では将来都市像のみを掲げた経緯は。

答 豊かな自然環境と活発な産業などのまちづくりの面と、市民の生きがいなどの心の幸せの面の両面が地域全体に広がることを目指し、一つの将来都市像として表現したため。

(12/7 総合計画審査特別委員会)

討 論

議案に対する  
本会議での議員  
の賛成・反対の  
表明です

議案 No.87 議員期末手当支給割合の引き上げ

賛成 (岡本重明)

反対 (岡本重明) 報酬のために議員になるのではないとの理念から外れることから反対する。

賛成 (眞野尚功)

国や他の地方公共団体との均衡を図るのみならず、議員の成り手不足対策としても重要と考えるため賛成する。

賛否が分かれた議案

■ 議案第87号 「議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正」

結果 (賛成:反対)	小川 金一	内藤 浩	村上 誠	辻 史子	柳元 浩幸	山上 勝由	眞野 尚功	古川 美栄	岡本 禎稔	鈴木 和基	小川 貴夫	中村健太郎	岡本 重明	古川 幸宏	中野 哲伸	平松 昭徳	内藤喜久枝	中神 靖典
可決 (16:1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

○…賛成 ×…反対 一…議長は議決に加わらない

陳情を審査しました

▽「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書

文教厚生委員会が審査した結果、不採択となりました。

※陳情結果はホームページでもご覧いただけます。



ここが聞きたい

# 一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

## 中学校の休日部活動の地域移行をどう進めるか

令和6年度当初からは計画に沿って取り組む



まの ひさかつ  
真野 尚功  
自由民主党田原市議団



### 休日部活動の地域移行の取組について

**問** 令和5年度から地域活動団体コーディネーターを配置しているが、中学校における休日部活動の地域移行の取組みとは。

**答** 生徒自身が休日の過ごし方を決めて活動できるよう、地域移行の環境整備を進めている。

**問** 休日の活動の選択肢を増やすことは、具体的にはどのように進めるのか。

**答** 既存の各種団体等での参加や、地域学校協働本部や保護者がクラブを作り運営することが可能か検討していただくよう依頼していく。

**問** 地域スポーツ団体の各種大会への参加は、今後どのようになるのか。

**答** 現在、学校の部活動としての参加しか認めていない大会もある。各種協会等に参加資格の変更等を求めている。

**問** 地域移行に関し、対象家庭への支援については。

**答** 参加費や移動等に関わる負担が生じることが考えられるため、可能な支援について検討していく。

**問** 令和7年度までに取り組むべきこと、それ以降も継続していくことなどについて、段階的な取り組みやスケジュールが必要と思うが、計画をどう進めていくのか。

**答** 中学生が参加可能な団体の募集、指導者や活動場所の確保、条件や組織について検討すると同時に、スケジュールについても検討をしており、令和6年度当初から計画的に取り組んでいきたい。





つじ ふみ こ  
辻 史子  
公明党田原市議団



## 終活情報登録伝達事業の取り組みはできないか

エンディングノートの活用を進めながら検討していく

### おひとりさま（ひとり暮らしの高齢者）支援について

**問** 本市のおひとりさま支援の取り組みは。  
**答** ひとり暮らし高齢者等への環境整備については、緊急通報システムの貸与や食事を配達することで安否確認を行う配食サービスなどの生活支援をしている。終活支援については、終活に関する自分の考えなどを書き留めておくエンディングノートを作成し無料配布している。また、もしもの時のために自身の意思を家族や医療・介護関係者等と共有するアドバンス・ケア・プランニングの取り組みも進めている。

**問** 神奈川県横須賀市のエンディングプラン・サポート事業は、利用者が協力葬儀社と生前契約し、費用を預け、亡くなった後、市と協力葬儀社が連携して葬儀や納骨を行う事業であるが、本市でも行えないのか。  
**答** 葬儀社や医療機関等の協力が必要になるので、真に必要なものか、さまざまな視点から検証していく。

**問** 緊急連絡先やエンディングノートなどの保管場所、墓の所在地などの情報を市に登録する終活情報登録伝達事業について取り組むことはできないのか。  
**答** 高齢者支援センターが行う実態把握調査や、市が65歳以上のひとり暮らし高齢者等に登録を促している災害時避難行動要支援者制度により確認ができていない部分もある。引き続き、ひとり暮らし高齢者等の実態把握等を継続することに加え、エンディングノートの活用を進めながら本事業の取り組みについて検討していく。



### 一般質問

- P 6 まの ひさかつ 眞野 尚功 休日部活動の地域移行の取組について
- P 7 つじ ふみ こ 辻 史子 おひとりさま（ひとり暮らしの高齢者）支援について
- P 8 ないとう きく え 内藤喜久枝 赤羽根市民センター 一帯の施設の方向性について
- P 8 ふるかわ ゆきひろ 古川 幸宏 アイアンマン70.3東三河ジャパン in 渥美半島について
- P 9 なかむらけん たろう 中村健太郎 消防団の在り方について
- P 10 すずき かずもと 鈴木 和基 田原市街地の活性化について
- P 10 おがわ たか お 小川 貴夫 連携型中高一貫教育の取組について
- P 11 なかの あきのぶ 中野 哲伸 道路維持活動について
- P 12 おかもと しげあき 岡本 重明 まちづくりについて

## 赤羽根市民センター等の施設の方向性は

取り壊す方向で検討しているが、市民窓口機能などは維持していきたい



ないとう きくえ  
内藤 喜久枝  
自由民主党田原市議団



### 赤羽根市民センター 一帯の施設の方向性について

**問** 赤羽根市民センター、赤羽根文化会館及び赤羽根図書館の今後の方向性について市の考えは。

**答** それぞれ老朽化などが進んでいることから、今後、維持していくことが困難な施設として、取り壊す方向で検討しているが、市民窓口機能、図書サービスについては、赤羽根地域に欠かせない機能と認識しており、維持していきたいと考えている。

**問** 赤羽根文化会館の大規模改修には多額の費用が必要とのことだが、どの程度の金額か。

**答** 現在、不具合が生じている空調設備と屋上防水の改修で約1億7千万円必要になると試算されており、その他の改修や今後の維持管理経費等も合わせると、さらに大きな費用が必要になると見込んでいる。

**問** これまで適切な管理がされていれば、さらに長寿命化もできたのではと思うが、これまでの対応は。

**答** 他の公共施設等への複合化などを検討する施設として位置付けられており、この前提において適切な維持管理を行い、施設の健全化に努めてきた。

**問** 市民窓口機能と図書館サービスを維持していくとのことだが、どのような施設を検討しているのか。

**答** 市民窓口機能と図書サービスを併せ持つ複合的な施設を視野に入れ、今後、手法の検討を進めていく。

**問** 検討段階で地域住民の声を聞き、尊重していただきたいが、今後の説明をどのように行っていくのか。

**答** 必要に応じ各市民館単位などで説明し、意見を伺う機会を設けることを検討していく。



## 来年以降の大会について 市の考えは

開催されることを望んでいるが、地域の交通事情等への配慮が不可欠である



ふるかわ ゆきひろ  
古川 幸宏  
自由民主党田原市議団



### アイアンマン70・3 東三河ジャパンin渥美半島について

**問** 本年度開催した経緯、目的は。

**答** 平成28年に現在の東三河スポーツ地域振興財団を構成する企業等から、東三河を世界に発信することを目的とした考えが本市に示された。令和3年1月頃から本格的な検討、令和4年6月上旬から関係機関等との調整が始まり、令和5年6月10日に大会が開催された。

**問** 大会への負担金は、企業版ふるさと納税を財源とするとしていたが、これ以外の支出はなかったのか。

**答** 企業版ふるさと納税を財源としたもの以外ない。

**問** 大会を振り返り、住民アンケートを実施すると聞いていたが、中止になった理由は。

**答** 特に課題となった交通規制などについて具体的な対策が示されておらず、不十分な情報で市民の混乱を招く恐れがあったため。





なかむら けんたろう  
中村 健太郎  
国民民主党田原市議団



## 今後の田原市消防団ポンプ操法大会の在り方は

操法大会を廃止し、負担軽減に配慮した訓練の在り方に見直す

### 消防団の在り方について

**問** 大規模災害時には人手不足が懸念され、災害現場で活動する団員数を確保することが必要だと考えるが、基本団員及び機能別消防団員の確保策について市の考えは。

**答** 処遇改善や行事の見直し、出初式・観閲式の式典を集約し負担軽減を図るとともに、ケーブルテレビなどを活用し、消防団のイメージアップを図り募集を行っている。市民の皆様に地域の安心・安全を守る消防団の活躍をアピールし、消防団員の確保、持続可能な消防団活動の推進を図っていく。

**問** 愛知県操法大会に出場しないとしたが、今後の田原市消防団ポンプ操法大会の在り方について、どのように考えているのか。

**答** 消防操法大会に関する検討会では、消防団員や家族の負担軽減、若い世代の価値観にあった入団しやすい環境づくりが必要との見解が消防団から示されたため、愛知県操法大会への出場辞退と市消防団ポンプ操法大会の廃止を取り決めた。操法訓練はさまざまな訓練の選択肢の一つとして位置づ

け、消防団員の負担軽減に配慮した訓練の在り方に見直す。

**問** 競技化した訓練の廃止も検討すると伺っているが、消防団員の技能の維持などが懸念される。今後の消防団技術の伝承や消防団活動訓練は。

**答** 消防団が持つ技術の伝承には、活動訓練の方針を策定し、訓練の標準化、技能取得の充実化を図っていく。訓練方針は、消防団の意見を反映した訓練項目を取り入れるなど、基本的な訓練をはじめ、火災対応や地域特性に応じた災害訓練など、各分団が必要とする訓練項目を選択し、消防団が主体的に取り組めるものとする。



**問** 来年以降の大会について、現時点での市の考えは。

**答** 主催者から今年と同時期で開催したいと打診されており、継続的かつ発展的に開催されることを望んでいる。ただし、多くの市民が大会の効果を実感できる環境整備や迂回路の設定など、地域の交通事情等への配慮が不可欠であると考えている。

**問** 同時期での開催となればスケジュールもタイトになってきている。1年先延ばしにして準備を進める検討はされないのか。

**答** 連続して開催することで、より多くの選手の確保につながるかと伺っている。

**問** 主催者に住民説明会などを設けるよう働きかける考えがあるのか。

**答** 主催者には、説明会などを開催するよう働きかけていく。市も協力し、丁寧に説明をしていきたい。

# 中心市街地活性化に向けた今後の取り組みは

花のまち田原市と感じてもらえるような空間づくりをしていく



鈴木 和基  
自由民主党田原市議団



## 田原市街地の活性化について

**問** 中心市街地では、ハード面の整備や都市施設の誘導などが進められてきたが、さらなる活性化が求められる。中心市街地活性化に向けた今後の取り組みについて考えは。

**答** シンボルロードである田原駅前通り線の街路樹の花木の植え替えや、田原駅前広場とロータリーにおける花壇やフォトスポットの整備に取り組んでいく。また、ララグランなどを活用し、市民だけでなく来訪者にも、さすが花のまち田原市と感じてもらえるような空間づくりをしていく。一方、低・未利用地の活用については、サウンディング型市場調査を実施し、民間活力の導入を視野に入れながら、活性化に向けた土地利用を検討していく。

**問** 田原市街地の人口を、策定中の第2次総合計画の人口推計に基づき算出すると、令和2年から計画の最終年度である令和15年までに約1,300人減少すると推計される。田原市街地における人口減少対策の取り組みは。

**答** 空き家・空き地バンクの活用、空き家の改修や解

体への補助による不動産の流動化、さらには、田原市民間宅地開発奨励金制度の活用により宅地開発を促進し、居住を誘導していく。

**問** 中心市街地における景観まちづくりについて、今後の市の方向性は。

**答** 花木や花を活用した花のまちにふさわしい景観づくりと、中心市街地の中で最も特徴のある旧城下町の歴史を生かした景観づくりを中心に、田原中部地区景観まちづくり検討会などの団体や市民と一緒に景観づくりに取り組んでいきたい。



- 問** 中高一貫教育推進委員会における教育委員会の役割は。全体計画や教育課程部会など3つの部会の活動計画の検討等において、持続可能な取り組みが推進されるよう意見を述べたり、必要な支援を考えたりしている。
- 答** 計画的に部会を開催し、中高の教員が定期的に情報発信をしていくと良いと考えるが。
- 問** 2校による情報交換会「すまいる会議」は毎月1回開催され、3部会の活動の調整が行われている。
- 答** キャリア教育の実践には、スクールサポーターが有効だと思うが。
- 問** 地域の方々の協力を得ながらキャリア教育を進めていくことは有効であり、6年間を通じたキャリア教育が推進されるよう福江中学校の計画に合わせスクールサポーターが配置できるよう努めていく。

## 連携型中高一貫教育の取組について

教育委員会としては、持続可能な取り組みとなるよう連携していきたい

## 連携型中高一貫教育の取り組みの方向性は



小川 貴夫  
自由民主党田原市議団





なかの あきのぶ  
**中野 哲伸**  
自由民主党田原市議団



## 今後どのように道路の維持管理をしていくのか

防草舗装等の抑制対策を広く進めていきたい

### 道路維持活動について

- 問** 自転車走行環境の保全等の取り組みは。
- 答** 直営の道路維持班を置き、市道の日常的な維持補修や草刈りなどを行うとともに、雑草対策として、草刈り等の事後対策と合わせて防草舗装などの抑制対策に取り組んでいる。
- 問** 草の成長も早く、刈っても追いつかない状況の中、今後どのように維持管理の向上をしていくのか。
- 答** 現在試行している植樹帯などでの防草シート等の防草効果を検証しつつ、雑草抑制の工法等をコスト面・景観面など多面的に研究し、その結果に基づき、最適な手段にて抑制対策を広く進めていきたい。また、乗用型の草刈り機などを活用し、機械化を組み合わせることで、作業の効率化を図っていきたい。
- 問** 直営の道路維持班に、草刈りや除草等の専門部隊を別に編成する考えは。
- 答** 限られた作業員を柔軟に現場に配分することが、作業的には有効であり、あえて専属編成にすることは、なかなか利点を見出せない。

- 問** 道路維持整備に関わる団体活動の今後の展望は。
- 答** 企業やNPO法人などに広く参画していただくため、資機材などの貸出し、収集運搬支援など支援体制を拡充し、また、協力団体の表彰など顕彰活動を充実していくことで、ボランティア団体の増加に取り組んでいきたい。



- 問** 7年目を迎える連携型中高一貫教育の取り組みの方向性は。
- 答** 教育委員会としては、「6年間の交流で、確かな学力と豊かな人間性を育成し、田原市の発展に貢献できる生徒の育成を目指す」という大きな狙いを共有し、交流等の活動が持続可能な取り組みになるように連携していきたい。
- 問** 連携型中高一貫教育を行っている両校の生徒たちが田原市文化協会の文化祭に参加することは、地域連携という観点からも重要であると思うが。
- 答** 年間計画や授業計画にも関わるので、部会や文化協会等々の検討状況について、これらを注視していく。

# 6次産業化が進むことで、地場産業に与える影響は

地域産業の持続的な振興の呼び水となると考える



おかもと しげあき  
岡本 重明  
青嵐会



## まちづくりについて

**問** 臨海開発・企業誘致で市財政を潤わせる目的は達成できたにもかかわらず、地場産業の衰退が進んでいると危惧している。地場産業の衰退についてどのように捉えているのか。

**答** 地場産業は、後継者不足や消費者のニーズ変化などさまざまな課題があるが、本市産業の中核としての役割を担っているため、その活性化は重要であると認識している。

**問** 農地の資産価値が下落していると感じているが、本市の農業経営に対する影響をどのように捉えているのか。

**答** 農地の価格は全国的に下落が続いており、本市においても同様の状況となっている。農地の資産価値が下がることは、農業者にとって経営資金の調達、将来的な経営戦略に影響を及ぼす可能性があることを憂慮しており、引き続き動向を注視していく必要がある。

**問** 6次産業化が進むことで、本市の地場産業や移住者に与える影響は。

**答** 農家や事業者の収益性の向上が図られるとともに、雇用機会の拡大や地域産業の持続的な振興の呼び水となると考えている。また、交流人口や関係人口が拡大することから、移住者の増加や定着にも結びつくことが期待される。



## 議会ホームページで本会議(一般質問)の映像を見ることができます

パソコン・スマートフォン・タブレット端末で本会議(一般質問)の映像を見ることができます。



### 利用方法

- ①下の二次元コードかアドレスからアクセス
- ②視聴したい定例会、日程、議員を選択



<https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

## お知らせ information

### 令和6年第1回定例会(3月定例会) 会期

2月29日(木)～3月21日(木)

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26	27	28	29 本会議 (施政方針・議案審議)	3/1	2
3	4 本会議 (代表質問・一般質問)	5 本会議 (一般質問)	6	7	8 文教厚生委員会 総務産業委員会	9
10	11	12	13	14 予算決算委員会	15	16
17	18 議会運営委員会	19	20 香分の日	21 本会議 (採決等)	22	23
24	25	26	27	28	29	30

開会時刻は10時です。(総務産業委員会13:30、予算決算委員会9:00)  
 ※日程および時間は、変更になる場合があります。  
 ☑マークの日に、施政方針および一般質問の映像をケーブルテレビ・インターネットで中継していますので、ぜひご覧ください。  
 本会議・委員会は誰でも傍聴できます。

## 設楽町議会との交流会を行いました

10月23日、設楽町議会議員の方々が田原市を訪れ、伊良湖岬にある伊勢湾海上交通センターを共に視察するなど、交流を図りました。

田原市（旧田原町）と設楽町（旧津具村）との姉妹提携が縁となり、議会でも友好親善を深めるため交流をはじめ、平成13年に津具村議会が旧田原町を訪れて以後、相互に訪問し、交流を図っています。



## 田原市総合計画審査特別委員会の活動報告書を提出しました

田原市総合計画審査特別委員会は、令和4年第2回定例会において設置され、議員の任期満了に伴い一旦消滅しましたが、引き続き調査を行うべく、令和5年第1回臨時会で改めて特別委員会を設置し、第2次田原市総合計画策定に向けた調査・研究を進めてきました。

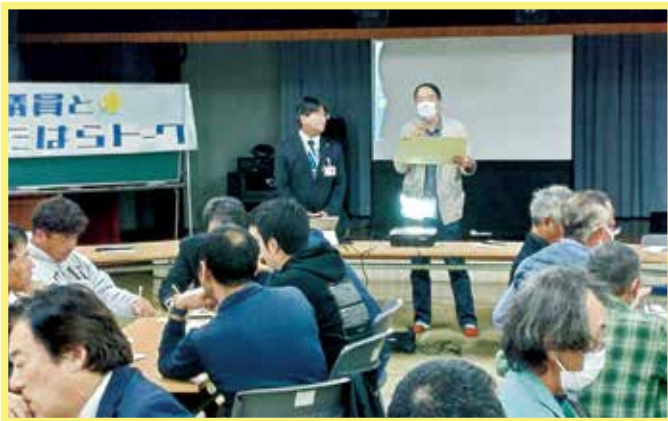


令和5年12月7日の特別委員会で議案第105号「第2次田原市総合計画の基本構想について」を審査し、これをもって調査・研究を終了したため、12月8日、議長に報告書を提出しました。

令和5年第4回定例会最終日の12月14日、本会議において、特別委員会は廃止されました。

# 議員とたはらトーク

野田市民館、和地市民館、童浦市民館において、令和5年第3回定例会の議会報告及び各会場のテーマごとに意見交換を行いました。いただいたご意見は全て議員全員で共有し、政策提案の検討材料としていきます。  
※ご意見は抜粋して掲載しています



## 11月9日 野田市民館

意見交換会  
テーマ

- ・少子化が進む中の学校の統廃合について
- ・農業について

・移住促進として、18歳までの子どもの学費や医療費の無償化を進めてはどうか。

・田植えや稲刈りは委託で対応しており、子どもも農業を継いでくれそうになく、農地の維持管理が課題となっている。

## 11月10日 和地市民館

意見交換会  
テーマ

- ・海岸浸食防止対策について
- ・災害時の避難場所について
- ・アイアンマンレースについて

・砂浜が浸食され、崖まで波がきている。沖に潜堤を設置してほしい。

・和地小学校跡地を防災機能を兼ね備えた施設として再利用してほしい。車中泊しやすい環境整備などができないか。

・アイアンマンレースは交通規制など負担が大きかった。メリットや効果はあったのか。



## 11月13日 童浦市民館

意見交換会  
テーマ

- ・こども園と小学校について
- ・地域の将来像について
- ・地域の生活利便性について

・歩道設置が進んでいないため、通学路が危険である。

・企業誘致が進められているが、道路の渋滞対策など環境面に配慮してほしい。

・ぐるりんバスの増便など高齢者の移動手段を考えてほしい。



## アンケートの自由意見から

議会だよりを配布されるが、普段あまり見ない。市議の説明があれば分かりやすいと思った。

議員と校区市民との忌憚のない意見交換ができ、参加して良かった。地域に根差した議員活動をよろしくお願いします。

今回初めて議員とたはらトークに参加させていただきましたが、とても良いことだと思うので今後も続けてほしいです。

9月27日  
高松小学校café



高松小学校で開催されている小学校caféを訪問し、コミュニティ・スクールの取り組みの様子を伺いました。

10月7日  
特別展「ドナルドキーンと渡辺華山」開会式



田原市制20周年・田原市博物館開館30年・渡辺華山誕生230年を記念する特別展の開会式に議長が出席し、開催を祝いました。

10月17日  
広報広聴委員会報告会



市民館で実施している議員とたはらトークをより良いものとするため、実施にあたっての課題を広報広聴委員で整理し、今後の運営方法等について委員外議員と情報共有しました。

10月28日  
田原市制施行20周年記念式典



式典で議長が祝辞を述べるとともに、式典に併せ実施された非核・平和都市宣言記念植樹を行いました。

11月17日  
東三河市町村議会議長協議会  
要望活動



東三河地域の将来に向けた道路整備などの陳情書を県知事に提出しました。

11月20日  
野田校区レディースクラブ  
議場等見学



野田校区レディースクラブの皆さまが来庁。議場等を見学いただき、副議長が市議会の仕組みなどを紹介しました。

## 有料広告募集

田原市議会では、地域経済の活性化を目的として「田原市議会だより」に掲載する有料広告を募集します。

- 掲載位置 最終ページ下段（16ページをご覧ください）
- 募集枠数 2枠（枠サイズ:縦55mm×横85mm）
- 掲載号 令和6年4月15日号～令和7年1月15日号
- 掲載料 年41,880円（10,470円/回）
- 参考情報 A4版カラー刷り 年4回発行（1回約2万部発行）  
市内の全世帯等に配布、市役所・公共施設で配布



- 募集期間 令和6年2月29日（木）まで（直接持参の場合は執務時間内・郵送の場合は締切日必着）
- 応募方法 二次元コードなどから議会ホームページにアクセスしてください。  
・申込書に必要書類を添えて提出してください。  
・「田原市議会だより広告募集要項」をよく読み、規定を遵守してください。
- 選考方法 広報広聴委員会で審査し、応募者多数の場合は議会だより広告掲載要領第8条の規定に基づき決定します。



■問い合わせ先 田原市議会事務局 ☎0531-23-3533 ✉gikai@city.tahara.aichi.jp



# まちかど インタビュー

Vol.40

## 渥美混声合唱団の皆さん

「歌える喜びをかみしめながら」

—活動を始めたきっかけは。

平成4年に旧渥美町で開催された「柳田國男ゆかりサミット」のアトラクションとして、地元につながる歌を組曲にしたものが演奏されましたが、その時に結成された合唱団を母体として、渥美混声合唱団が誕生しました。

—どのような活動をしていますか。

指導者・ピアノスト各1名と女声14名、男声6名の総勢22名で、毎週木曜日午後8時から10時まで、渥美文化会館多目的ホールで練習を行っています。

団誕生のもととなった叙情歌「椰子の実」をはじめ、唱歌、ポップス、外国曲など幅広いジャンルの作品を、田原市文化祭や、市内の中学校、こども園、高齢者施設、観光施設で演奏し、地域の皆さまとの関わりを大切にしながら活動しています。



—活動の中で大変だったことや嬉しかったことは。

新型コロナウイルス感染症の発生により、飛沫の拡散を伴う合唱は、活動が困難になりましたが、SNSを活用し、リモートで何とか練習を続けることができ、現在もマスク着用など感染予防対策を行いながら活動しています。

大きな演奏会の際は、何カ月も前から準備に取りかかるのでとても大変ですが、本番を終えたときは充実感でいっぱいになります。また、施設を訪問した時は、入所者の方々が一緒に歌ってくださるなど、身近に触れ合える喜びがあります。

これまで、愛・地球博や東大寺大仏殿、伊勢湾フェリー、豊橋動物園、田原市の友好都市である長野県阿南町での演奏や、「めざましテレビ」などのテレビ番組への出演など、貴重な経験も数多くさせていただきました。

—今後の活動について教えてください。

地域での演奏活動を中心に、いつまでも良き仲間と大好きな歌を歌い続けていきたいです。近年、団員の減少・高齢化が進んでおり、一緒に歌う仲間を募集しています。合唱未経験の団員もいますので、お気軽にお越しください。お待ちしております。



(聞き手：古川幸宏) 令和5年11月取材



発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

☞ <https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

✉ [gikai@city.tahara.aichi.jp](mailto:gikai@city.tahara.aichi.jp)

## 社会福祉法人 福寿園

【法人本部】田原市六連町神ノ釜 9-3 Tel 27-0008

愛と感謝と奉仕

養護盲老人ホーム 福寿園  
特別養護老人ホーム 田原福寿園  
地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里  
ケアハウス パシフィック  
特別養護老人ホーム 渥美福寿園  
地域密着型複合福祉施設 花の里



田原福祉グローバル専門学校

# 募集

## パートさん

しその葉の摘み取り作業

## 内職さん

しその葉の結束・パック詰め



(応募) まずはお気軽にお電話ください。

# TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45  
自宅:TEL0531-37-0447

※財源確保のため、有料広告として掲載しています。広告については、田原市議会が推奨するものではありません。